

【相良村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 目指す学びの姿について

児童生徒が情報を主体的に捉えながら、何が重要かを考え、他者と協働し、新たな価値を創造するために必要な情報活用能力の育成を目指していく。

そのために1人1台端末をはじめとするICT環境を積極的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させることで「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指していく。その際に、一斉授業か個別学習か、オンライン・オフラインをうまく活用し、どちらの良さも適切に組み合わせて生かしていく学びを推進していく。

2. GIGA 第1期の総括について

相良村では令和2年度に1人1台端末を学校に整備し、令和3年度より学校における端末運用を開始している。また、ICT支援員を学校に月2～4回程配置し、教職員や児童生徒のサポートを行っている。

ICT環境の整備を進めてきましたが、1人1台端末を授業と家庭学習にまで活かすことができなかった。授業での端末活用については、端末のスペック・OS等の問題による不具合が発生し、スムーズな活用ができていない。そのため、教職員においても、操作・活用が十分にできていない状況である。

GIGA 第1期において、端末活用が端末のスペック・OS等による不具合に大きく左右され、活用できていない状況があったので、今後のICT機器の有効活用においては学校及びICT支援員との検討を十分に行っていくこととする。

3. 1人1台端末の利活用方策について

GIGAスクール構想第2期において端末を更新することで問題点を解消し、児童生徒1人1台の端末環境を維持することで、学習活動におけるICT活用として、デジタル教科書、授業支援システムツールの活用促進を進めていく。

(1) 1人1台端末の積極的活用について

端末の持ち帰り時でも使用しやすいコンテンツの導入の検討を行い、学びの充実を図る。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実について

学習者が自分のペースで学習を進められ、個に応じた効果的な学習の取り組みができるよう、簡単に使用しやすいツールの導入を検討をしていく。

(3) 学びの保障について

不登校児童生徒や障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて、課題の配布や回収、情報整理や協働学習などを行いやすくするために、授業支援システムツールとコミュニケーションツールの効果的な活用を図り、個々の学びを止めないようにしていく。